

2024年3月に公表された「Digital Trust Ecosystem Framework Implementation Guide」とは？

ISACA 東京支部基準委員会 福田重遠

私は ISACA の「**Digital Trust Ecosystem Framework Implementation Guide**」の Expert Reviewer として 2022 年に参画しましたが、2024 年 3 月にこのガイドが公表されました。現在、IT からデジタルにシフトし、人、モノ、コトの接点もデジタルを介して行われことが増え、デジタルトラスト、つまり、デジタルに対する信頼性を確保することの重要性は高まっています。このガイドは、エコシステム視点で、デジタルトラストを実行していくためのガイダンスとしてまとめられています。従来、ISACA®では COBIT®というフレームワークがありました。COBIT は一企業視点での IT ガバナンスをどうしていくのか？という視点でフレームワークが構成されていますが、Digital Trust Ecosystem Framework (DTEF) は一企業ではなく、複数の企業がサプライチェーン上でつながっているという前提でフレームワークが構成されており、COBIT をより拡張したフレームワークとなっています。

それでは、デジタルトラストとは何か、ISACA®以外の団体でデジタルトラストについてのフレームワークが世界経済フォーラムで公表され、ここでの定義や考え方を確認してみます。

世界経済フォーラムでは、デジタルトラストをデジタル技術とサービス、およびそれらを提供する組織がすべての利害関係者の利益を保護し、社会の期待と価値を維持するという個人の期待と定義しています。2023 年 10 月 3 日に、「世界経済フォーラム (WEF) デジタルトラストの測定：信頼できるテクノロジーの意思決定を支援する」を公表しています。ここでは、デジタル・トラスト・フレームワークは、組織のリーダーがデジタルトラストを獲得するための最良の方法を決定する際の指針となることを目的とし、8つの分野、具体的には、サイバーセキュリティ、安全性、透明性、相互運用性、監査可能性、是正可能性、公正性、プライバシーでそれぞれ項目と目標が明記されています。また、本フレームワークの利用で、デジタルトラストの目標に向けた組織の進捗状況や成熟度を測定し管理できるようにすることを目的としているとしています。

ISACA®では、DTEF(ベータ版については 2022 年 10 月にリリースされている)が公表される半年前に世界経済フォーラムが上記ガイドラインをリリースしていますが、デジタルトラストに関する考え方は表現に多少の差異はあるものの、考え方としては一致しています。ISACA®の DTEF では、ecosystem という言葉を入れて、ecosystem 全体でデジタルトラストを高めていくことの重要性を示唆しているところに大きな意味合いがあります。また、世界経済フォーラムのガイドラインよりもより実践的な適用の考え方や方法論も記載されていることもその特徴です。

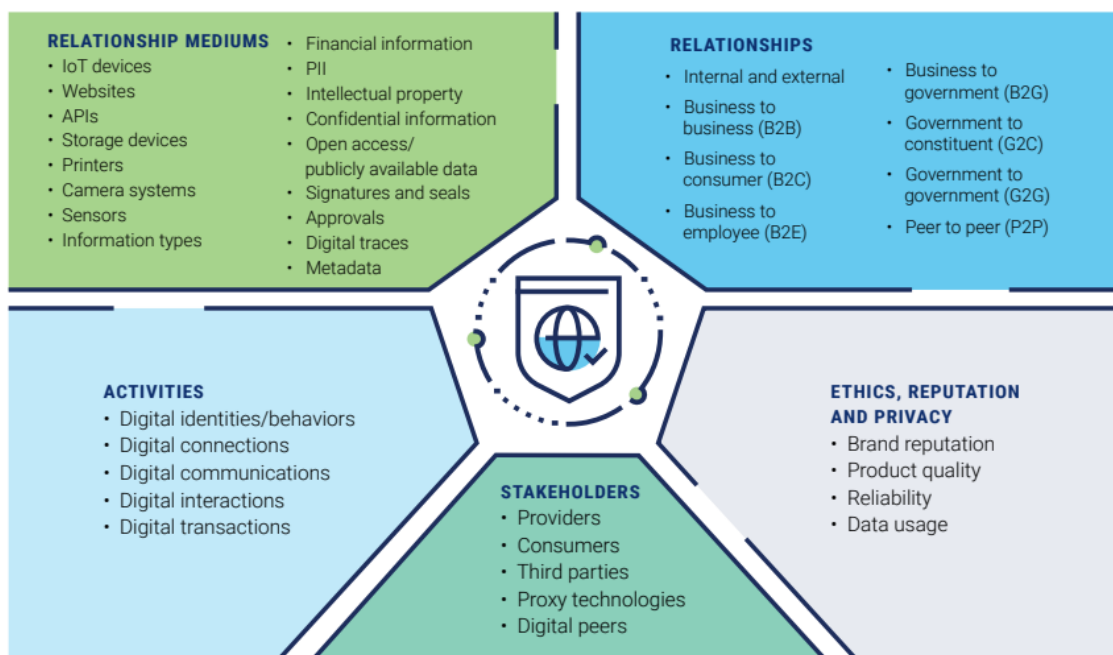
ISACA®では、DTEF は以下のように紹介しています。

ISACA® が新たに導入した DTEF は、テクノロジーとビジネスに信頼できる原則を浸透させ

ることに専念するビジネスおよび IT の専門家によって設計されました。このフレームワークは、組織全体にデジタルトラストを統合するために優れた実践方法と方向性を企業に提供し、競争力と評判を高める信頼重視のアプローチで製品戦略とイニシアチブを形成しています。文化、創発、人的要因、方向付けと監視、アーキテクチャ、有効化支援の6つの領域を網羅する DTEF は、顧客や利害関係者とのデジタルトラストを強化する組織に導きます。DTEF は、企業と消費者の間に信頼できる関係を構築するための重要な要素に焦点を当てています。これには、1) 完全性、2) セキュリティ、3) プライバシー、4) レジリエンス、5) 品質、6) 信頼性、7) 信任を含んでいます。また、3つの要素（人材、プロセス、テクノロジー）に対処し、4つ目の重要な要素（組織）を追加し、実践者が導入や評価するために使用できる詳細な実践手法、活動、成果、統制、KPI および KRI を含みます。DTEF は、組織が人工知能やその他の先端テクノロジーをより効果的に活用することを促進します。多くのフレームワークは先端テクノロジーの実装での技術的側面に重点を置きますが、DTEF は企業が先端テクノロジーを安全かつ責任を持って活用することで信頼を育む方法を理解することも促進します。

また、このガイドでは、デジタルトラストを確保するうえで、技術的な要素、ビジネス上の関係、デジタルな活動内容、利害関係者、倫理・風評・プライバシーを包括的に把握し、デジタル戦略が実現したことの効果、デジタルトラストの実現を阻害するリスクを明確化しその達成目標を描くための方法が明示されています。図表1はデジタルトラストに対する多くのコンポーネントを提示しています。

図表 1 : Digital Trust Ecosystem



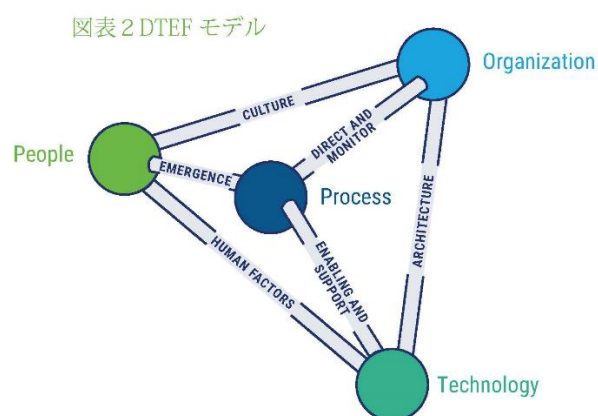
昨今の企業のビジネス環境で、デジタルな世界での事業展開の比率が高まっています。デジ

タル世界でのビジネス活動の展開の特徴は様々な技術が交錯し、より多面的な利害関係者との接点が生じ、それぞれの活動が相互に関係しあい、倫理・風評・プライバシーへの考慮も必要のため、包括的なアプローチが必要ですが、これまでデジタルトラストに焦点を当てたフレームワークが存在していませんでした。今後、DTEF を適用していくニーズは更に重要になると考えます。

従来、ISACA®では、従来、COBIT という I T ガバナンスのフレームワークをリリースしており、DTEF と COBIT はどのような関係かを問われるケースが多くありますが、ISACA®では、COBIT は情報とテクノロジーの事業体ガバナンスのための有力なフレームワークで、DTEF はデジタルトラストについてより広い視点を提供することで、2 つのフレームワークは相互に補完していくもので、二つのフレームワークを組み合わせて活用することで、相互補完できると解説しています。

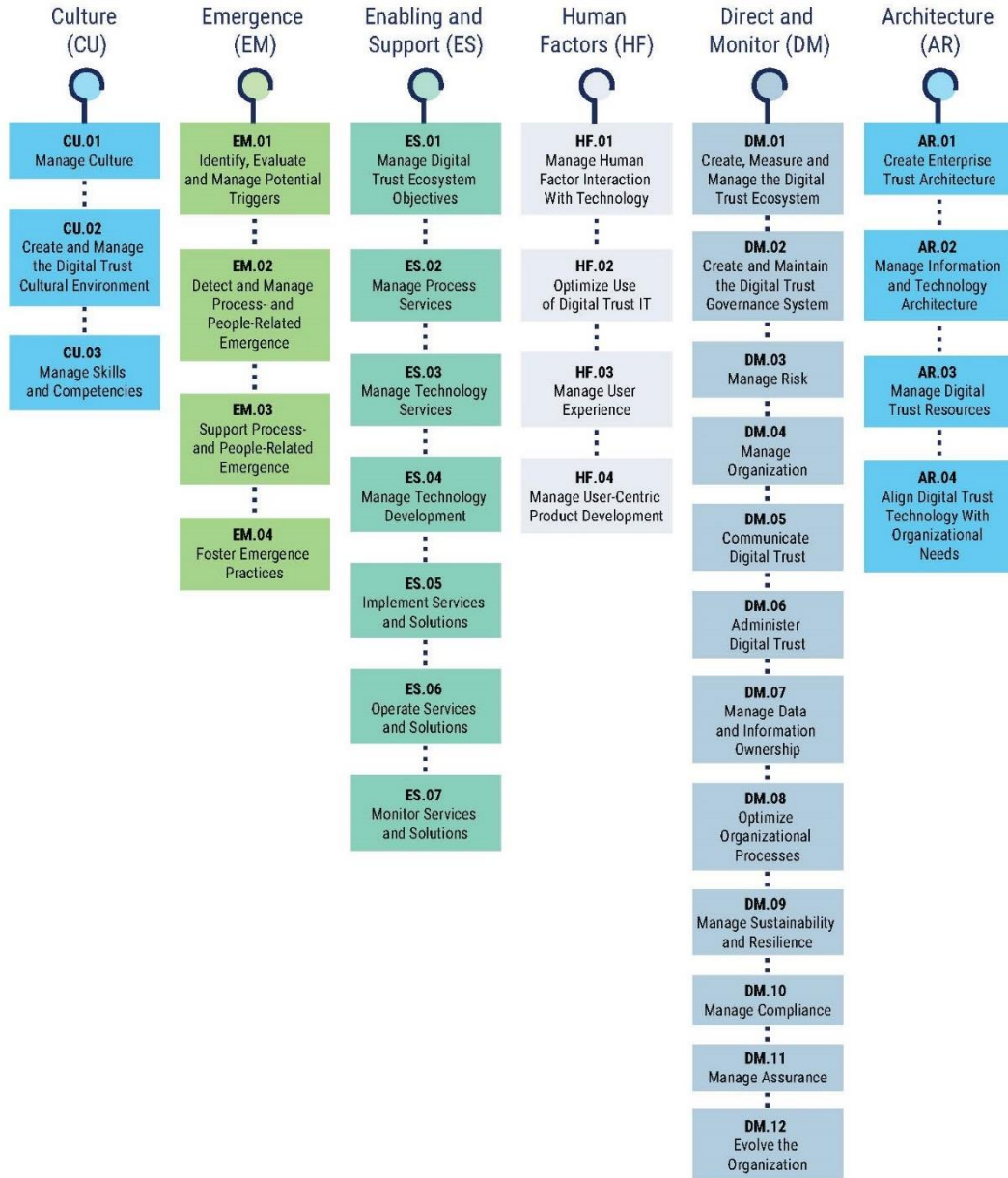
DTEF の具体的な内容として、以下 3 つの図表を紹介させていただきます。

図表 2 は、DTEF の全体のモデルを示しており、主な構成要素とその関係性を示しています。



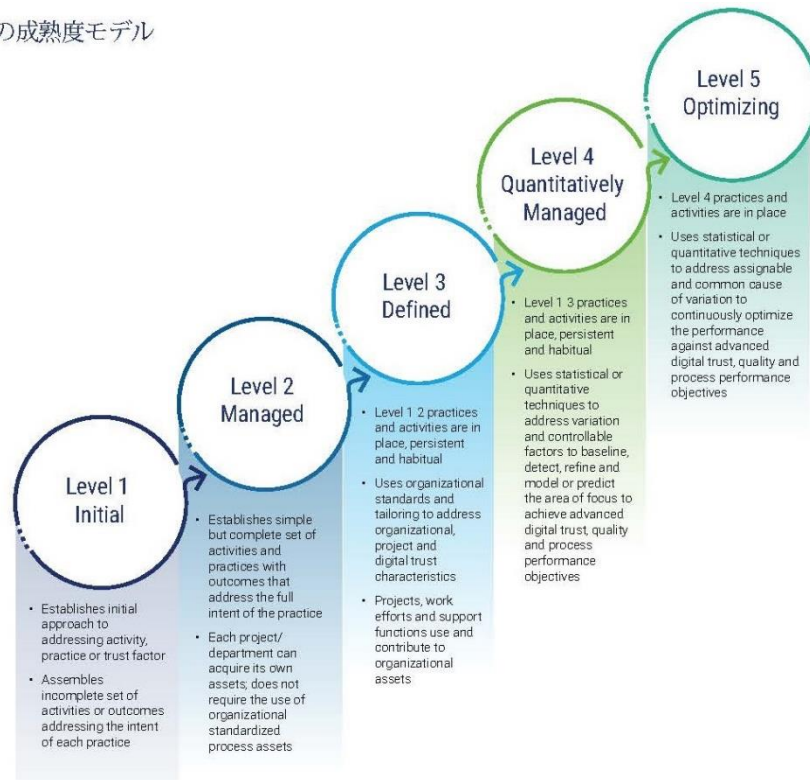
図表 3 は、図表 2 の各要素のより具体的な内容を示しています。

図表3 DTEFノード、ドメイン、トラストファクタ



図表4は、図表3のそれぞれの要素に対する成熟度モデルを示しています。

図表 4 DTEFの成熟度モデル



## 結論

DTEF はビジネスとデジタル技術の関わりを明確にするために、バランススコアカードやビジネスモデルキャンパスのフレームワークを使い、ビジネスとデジタルの関係を明確にし、サプライチェーン視点で、各ステークホルダーとの関係を整理したうえで、ビジネス全体でのリスクやトラスト（信頼を確保すべき）要因を整理したうえで、デジタルトラストで目指すべき戦略やその実現に向けた方法論を体系的に整理しています。ビジネスとデジタルの関わりを整理する手法やフレームワークが豊富に用意されている点が特徴的です。また、インターネット接続を前提にビジネスやそのデジタル環境に対するシステム監査を行うケースで、DTEFを活用することで、多様なステークホルダーやデジタルが内在するリスクを明確化する際に有効なフレームワークと思います。従来のシステム管理基準や COBIT では、ビジネスケースやデジタルの関わりに関し整理するフレームワークは用意されてはいませんでした。また、DTEF のすべてのフレームワークやマトリックス表等のツールを全て使わずとも、ビジネスとデジタルの関係を整理するマトリックスやステークホルダーを整理する方法論としての活用することができます。今後、DTEF の監査プログラムの開発も予定されており今後の出版も注目する必要があります。

引用：

## 1. Measuring Digital Trust: Supporting Decision-Making for Trustworthy Technologies

U R L :

<https://www.weforum.org/publications/measuring-digital-trust-supporting-decision-making-for-trustworthy-technologies/>

## 2. Digital Trust Ecosystem Framework& Implementation Guide

URL:

<https://www.isaca.org/digital-trust>

## 3. Digital Trust Ecosystem Framework a Valuable Complement to COBIT, Other Frameworks

URL :

<https://www.isaca.org/resources/news-and-trends/isaca-now-blog/2024/digital-trust-ecosystem-framework-a-valuable-complement-to-cobit-other-frameworks>